

目標達成計画

作成日: 平成 22年 12月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	これまでは地域密着型サービスとして地域に根ざした活動が不十分であるため、今年度の事業計画にも掲げ上記の活動に力を入れてる。しかし、その一つである運営推進会議への参加者が少ない。	会議への参加者の増員、会議の形態を工夫し参加しやすい環境を整備していく。	参加者の増員については、ご家族様へは早めの依頼を行い日程調整に余裕を持っていただく。地域の方々への依頼は次年度へ向け相談、計画を行う。会議の形態は、企画、イベントなどを利用しその時に会議を計画する。	4ヶ月
2	1	経験が少ない職員の配置や不規則の移動などの影響から、色々な事について同じ意識を持って業務にあたる事が十分でない。	職員全員が、同じ意識で同じ方向を向き業務にあたる。	少ない時間を有効に活用し、会議や業務の中でしっかりと指導や教育を行っていく。その為に指導する側の職員は更なる打ち合わせや、知識の向上に努める。	6ヶ月
3	11	優先順位の「2」にも通じる事だが、管理者と個々の職員との面談時間が不十分である。	定期的に管理者と個々の職員と面談を開催する。	日常業務中に交わす会話から、個々の思いや考えを拾っていったり、面談時間を捻出できる環境を整備していく。	4ヶ月
4	26	ケアプランのモニタリング内容が、プランの見直しに十分反映されておらず、計画の見直しが遅れているケースがある。ご家族様の書類での同意をいただく前にプランを実施しているケースがあった。	遅れることなく、プランの見直しを行い、遠方のご家族様にも電話での同意だけでなく、書類での同意をいただいてからプランを実行する。	定期的な会議だけでなく、いろんな場面をモニタリング収集の場に利用する事で、全体的な遅れを解消する。	4ヶ月
5	20	入居者の多くは施設で閉じ籠りがちな生活になっており、入居前の繋がりが継続できていない。	今まで以上に外との繋がりを増やす。	企画、行事を主に活用し、外部からの来訪機会を増やしたり、施設外へ出掛ける機械を増やす。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。